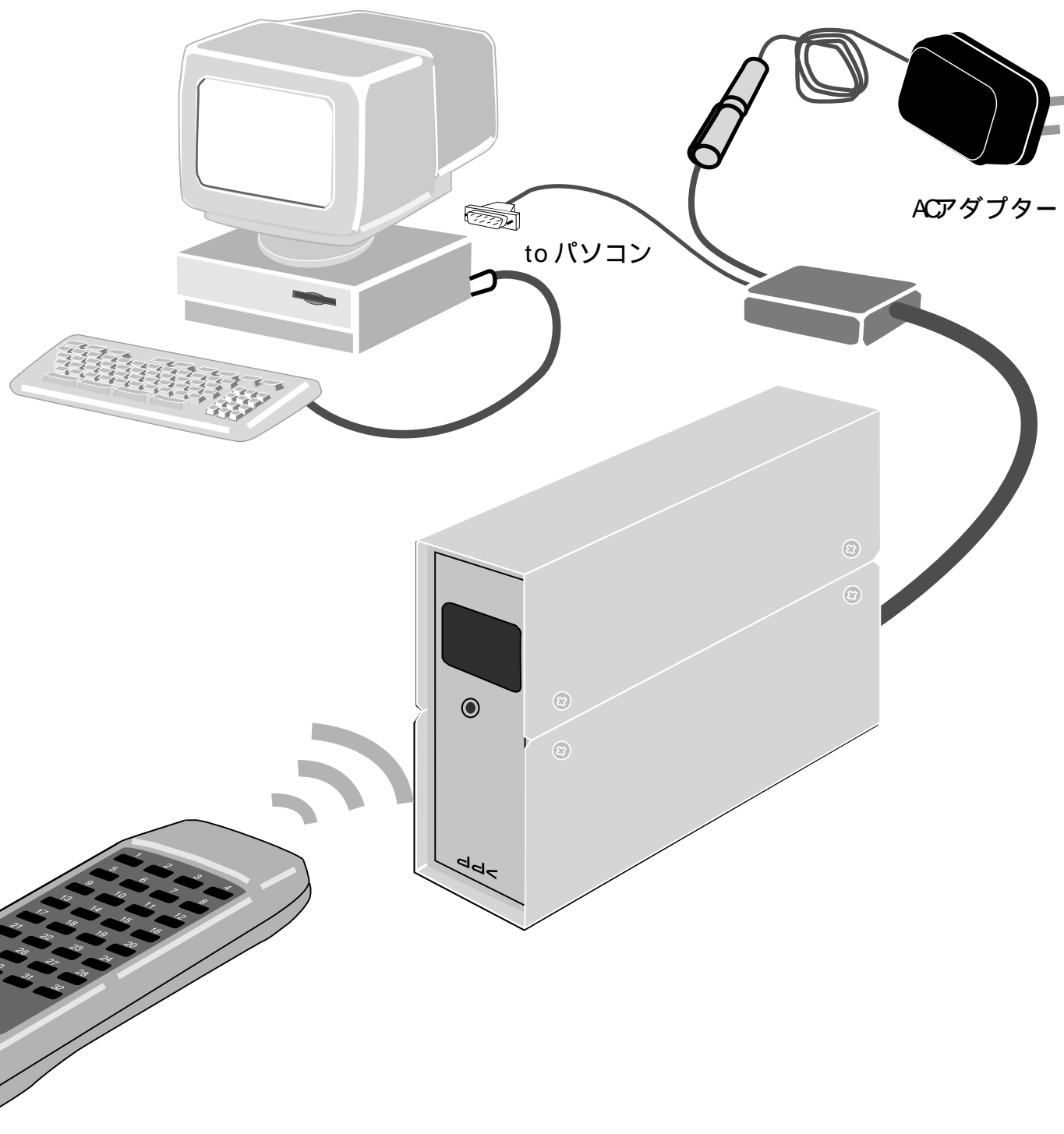
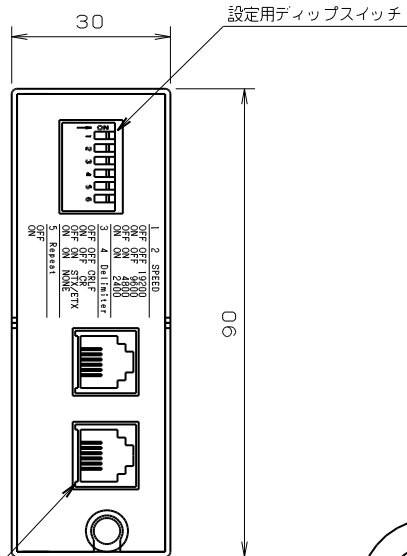


R-RS232C-M

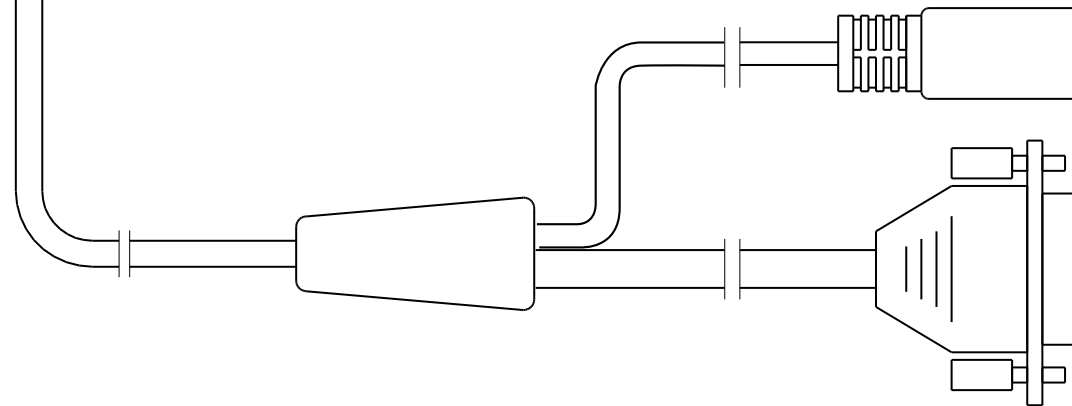
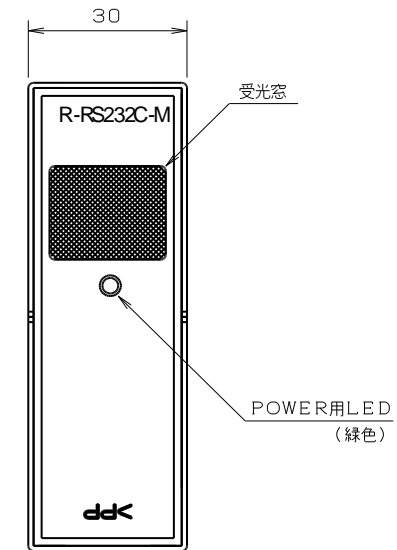
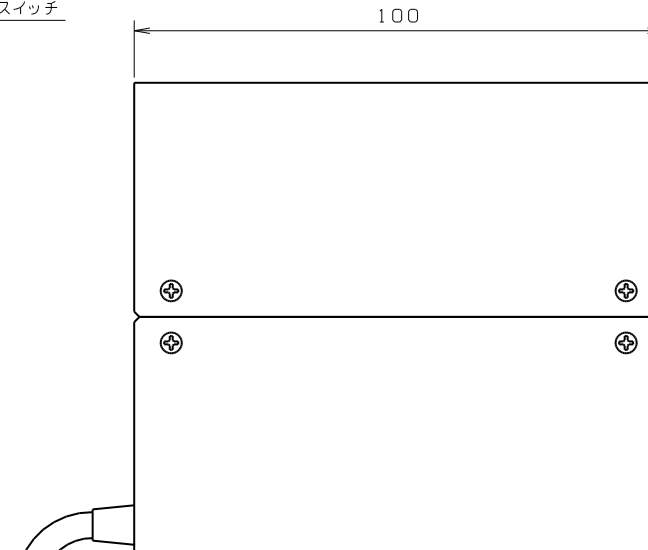
取扱い説明書



	日付	変更箇所	備考
△			
△			
△			
△			



外部受光ユニット接続用
モジュラーコネクタ
Jタイプ1ヶ所、JJタイプ2ヶ所
Sタイプなし。



ACアダプター
DC 12V
(-) (+)

D-Sub 9ピン
芯メス
TX ②
RX ③ D-SUB9ピン
GD ⑤

本図ハJタイプヲ示ス。

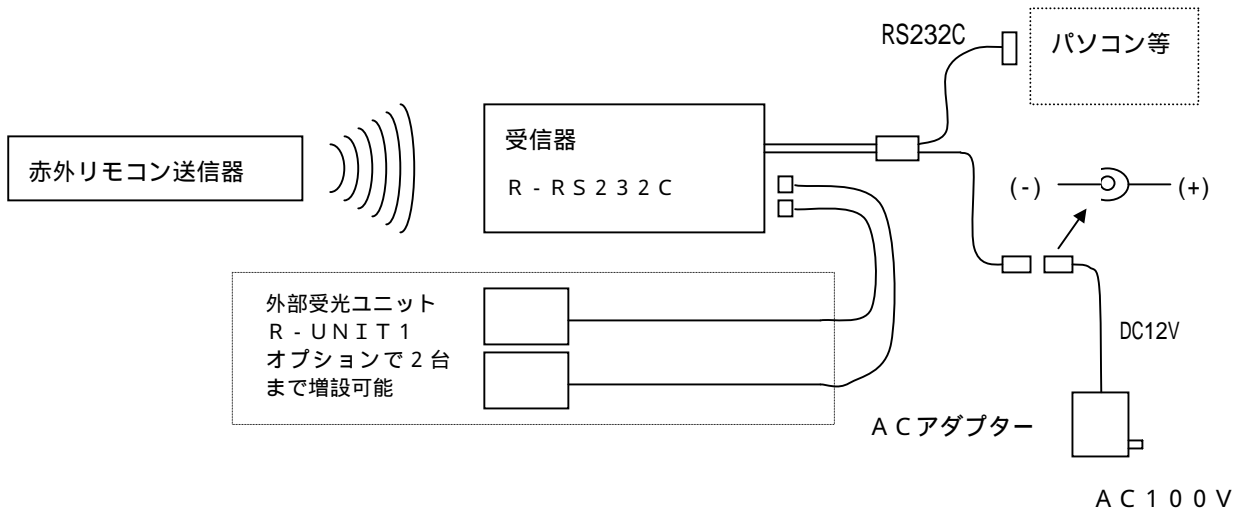
図番	010530-00	名称	R-RS232C-M 外觀図	数量	
材料		処			
		理			

概要

リモコンRS232C (R - RS232C - M) は赤外線リモコン送信器と受信器で構成されます。赤外線リモコン送信器は、押されたキーに対応した赤外線コードを送出します。

受信器は送信器よりの赤外信号を受信し、受信コードをRS232C信号に変換して出力します。

構成図



受信コード (R - RS232C - M)

受信器は、送信器より送出された赤外信号を受信後、該当するキーの情報を下記に示しますアスキーコードに変換してRS232C信号で出力します。

1 Key 30h+31h+0Dh+0Ah (ASCII表現 “01” +CRLF)

2 Key 30h+32h+0Dh+0Ah (ASCII表現 “02” +CRLF)

|

64 Key 36h+34h+0Dh+0Ah (ASCII表現 “64” +CRLF)

受信器後部のディップスイッチでボーレート、デリミタを設定します。

OFF
ON 1 2 3 4 5 6

No.1 No.2

OFF, OFF : 19200bps (出荷時)
ON , OFF : 9600bps
OFF, ON : 4800bps
ON , ON : 2400bps

No.3 No.4

OFF, OFF : CRLF
ON , OFF : CR
OFF, ON : STX・ETX
ON , ON : NONE

No.5

OFF : 単発出力
ON : 連続出力

No.6

OFF : 通常モード
ON-OFF : 登録モード

No.6の登録モードは、電源投入の設定でON-OFFを行いますので、詳細は設定ツールのページ以降を参照して下さい。(通常はOFFの状態でご使用下さい)

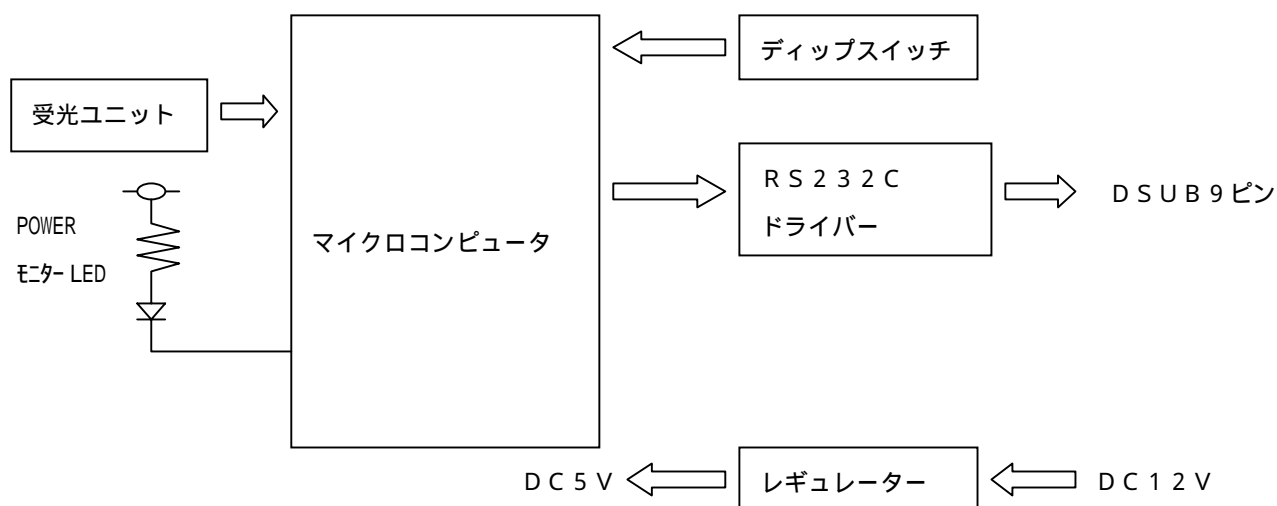
電源投入時に、前面パネル内の緑LEDが点灯します、赤外線リモコン信号を受信しますと、前面パネル内の緑色LEDが点滅します。(ディップスイッチの内容は、電源投入時のみ読み込まれます)

受信器内の構成

受信器は下記の構成図に示します様に、受信した赤外線を受電変換する「受光ユニット」、受信コードの解析、シリアル変換、ディップスイッチの読み込み等を行う「マイクロコンピュータ」とRS232Cドライバーから成ります。

電源はACアダプター（DC12V）で供給され、内部で5Vに変換されています。

受信器構成図



仕様

受光部

受信赤外線波長 940nm

受信キャリアー周波数 38kHz

制御部

制御 マイクロコンピュータ制御

出力 RS232C

電源 DC12V（内部DC5V）

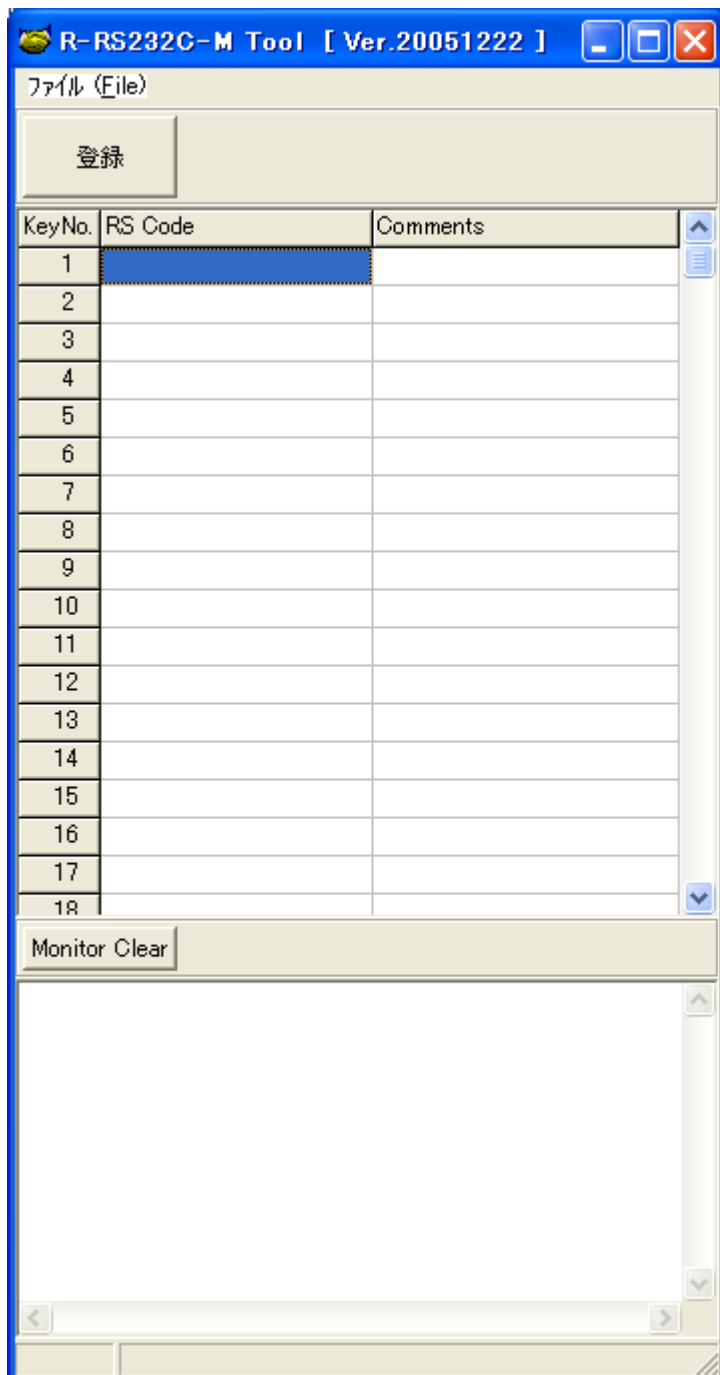
消費電力 約100mA

R - R S 2 3 2 C - Mの設定ツール

1 . インストール

付属のセットアップCDをパソコンにセットして、"Install"フォルダー内の"Setup.exe"を実行します。画面ガイダンスに従って、完了まで進めます。インストール後の再起動は必要ありません。(パソコンとR - R S 2 3 C - Mの接続はインストール完了後に行ってください)

2 . 起動画面

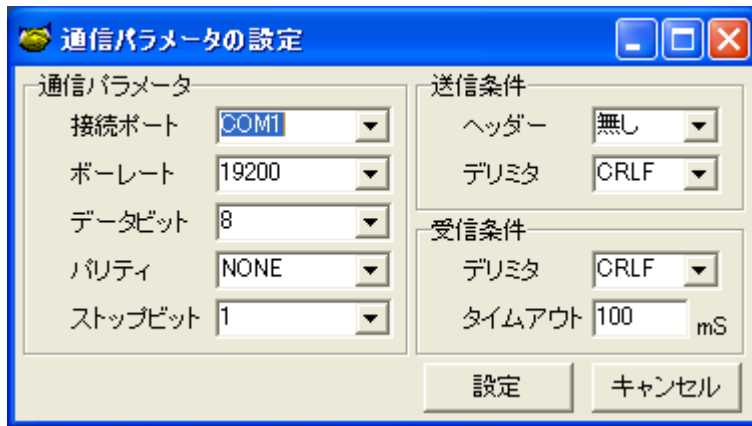


スタートメニューから

「プログラム」 「ddkApplications」
「ddkR-RS232C-M Tool」を選択して本アプリケーションを起動します。

R - R S 2 3 2 Cとの接続の有無は特に関係ありません。データ登録やテスト運用の時にケーブルは接続しておいて下さい。

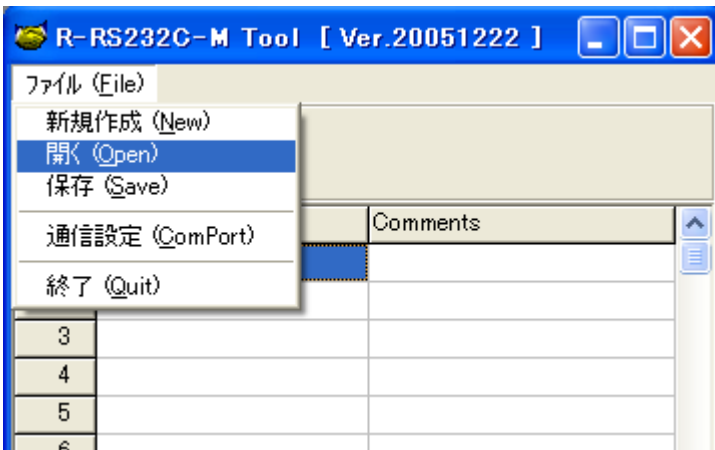
3. 通信設定



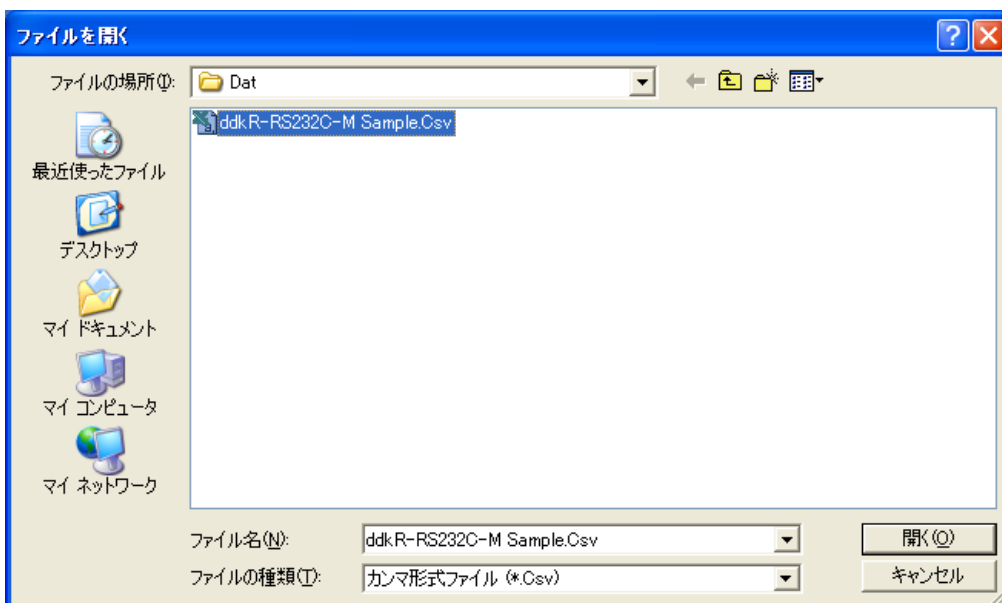
システムメニューで通信設定を選択しますと、設定用のダイアログが表示されます。

設定内容で変更が必要な項目は接続ポートの選択だけです、R-RS232C側のデリミタ設定を変更した場合はその設定に合わせて下さい。(受信条件のみです。)

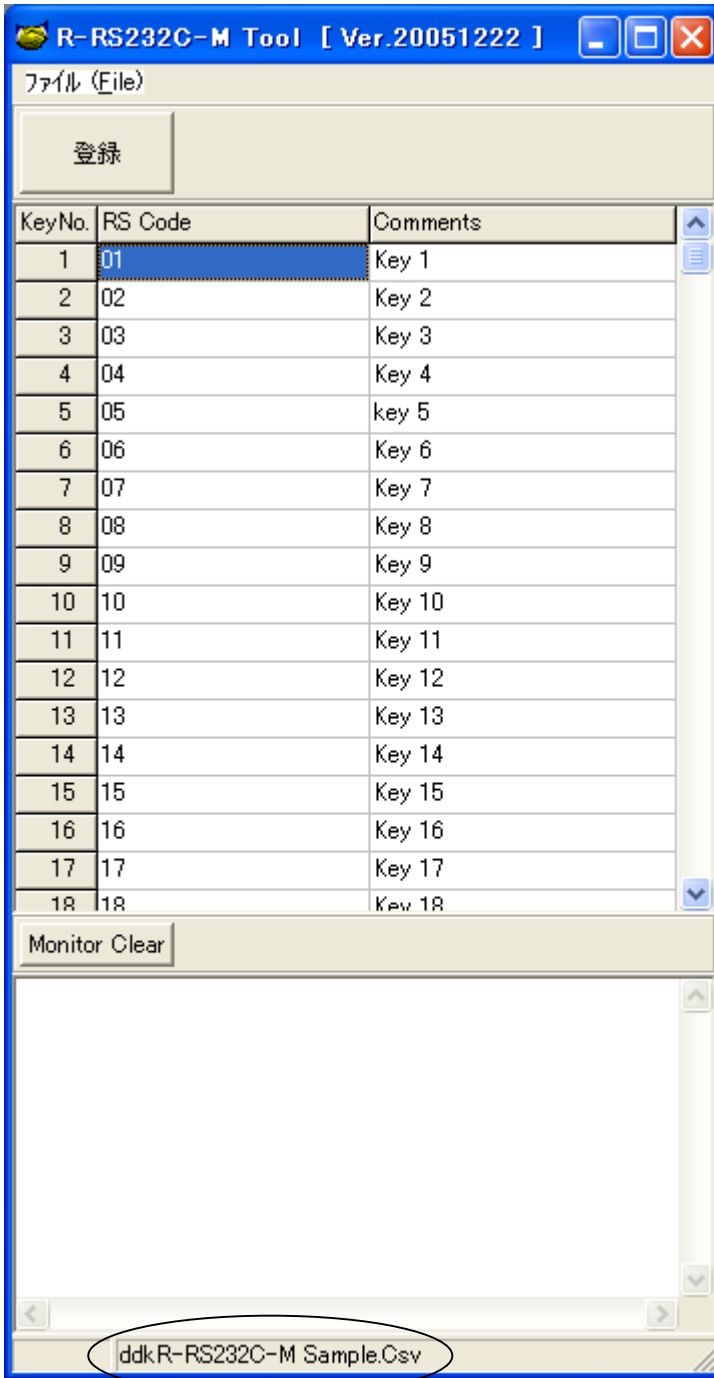
4. サンプルデータを開く



システムメニューから開くを選択しますとファイル選択のダイアログが表示されます。サンプルデータファイルは、インストールされた実行ファイルの配下に作成された“Dat”フォルダーにあります。



5. サンプルデータの表示画面



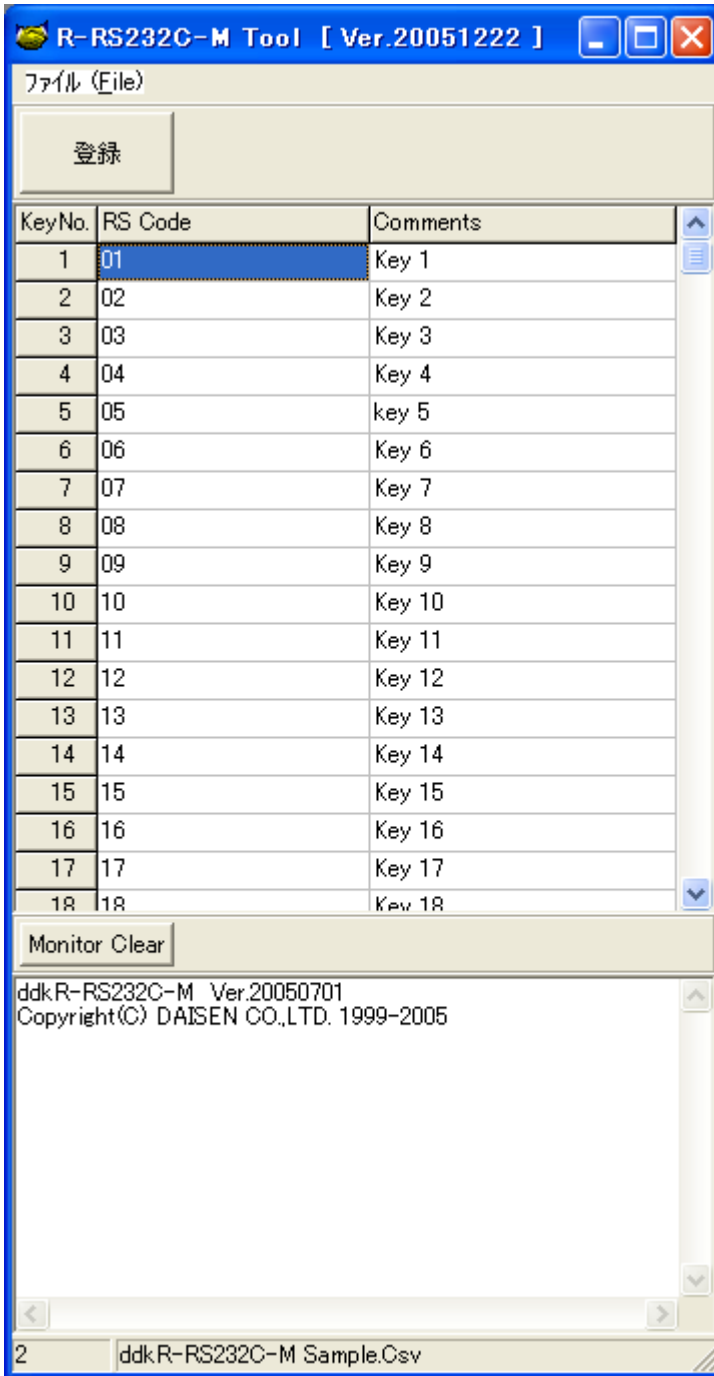
登録に必要な項目は、“RS Code”だけです。
“Comments”の項目は R-RS232C-M 本体へは送られません。データ管理上のメモとお考え下さい。

登録できる文字数は、**半角 16文字**までです。
空白(0x20)以下の制御コードを登録する場合は、“0x”に続けてコードは必ず 2 文字にして下さい。

例：“12345”に CRLF を付加したい場合は、“123450x0D0x0A”と入力して下さい
(“ ”は説明の為に表記しましたので実際の入力に必要ありません)

ファイルを開くまたは保存を行った時のファイル名を表示します。

6. R-RS232C-Mを登録モードにセットする



R-RS232C-Mの電源を一旦切ります。

データを登録するには、R-RS232C-Mの後パネルにあるディップスイッチの No.6 を ON にします。

前パネルの緑色 LED が点滅しましたら、ディップスイッチの No.6 を OFF に戻します。(緑色 LED は消灯)

R-RS232C-M が登録モードになったことを示す意味で、画面にバージョンを表示します。

画面上部の「登録」ボタンをクリックしますと、次ページに表示しています。確認ダイアログが表示されます。

ご注意

登録モード中に、リモコン送信機のボタンを押しますと、R-RS232C-Mの登録データは初期化されます。この場合、KeyNo.1～KeyNo.64 まで”01”～”64”の初期値に戻されます。

この場合、その後で登録データを登録しますと問題なく目的のデータに登録され直します。

7. データ登録の実行



画面上部の「登録」ボタンをクリックすると登録実行の確認ダイアログが表示されますので「はい」をクリックしますと、登録が実行されます。

カーソルが順次移動して最終行まで進みますと、また先頭行に戻って完了の確認ダイアログが表示されます。(次ページ参照)

R-RS232C-M は弊社が販売しています T 6 4 タイプのリモコンまでサポートする為、キー数の少ないリモコンであっても 6 4 個登録します。登録に必要な無いキーは空白にすると、データは出力されません。

8 . データ登録の完了



登録完了のダイアログが表示されましたら、「OK」ボタンをクリックします。

これで R-RS232C-M の登録モードは解除され、通常の運用モードに戻ります。画面下部の通信モニター表示欄に“Quit of SetMode”と表示されます。

通常モードになりましたら、リモコン送信機のボタンを押しますと、登録されたデータが、画面したのモニター表示欄に表示されますので、ご確認下さい。登録内容が画面の場合ですと、通信モニター表示欄には、リモコンのボタン 1、2、3 と順に押した場合

01

02

03

の表示となります。

- メモ -

製品についてのお問い合わせは下記までお願い致します。

株式会社 **ダイセン** 電子工業
〒556-0005
大阪市浪速区日本橋 4丁目9-24
06-6631-5553 Fax06-6631-6886
[E-mail] ddk@daisendenshi.com
[URL] <http://www.daisendenshi.com>